科目コード	1315	ナンバリング	FAA210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	生活支援技術Ⅲ 2-福						
科目英語名	Life Support Technique Ⅲ 2-福						
担当教員	武田　千幸／久保田　寛						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	居宅における介護技術について理解する 要介護者の状況に応じた支援を考え、実践能力を養う 終末期の介護について理解する						
学修成果到達目標	ＩＣＦの視点にもとづいたアセスメントができる 障害に応じた介護の方法について根拠が説明できる 終末期の介護について概要を説明できる アセスメントに基づいた支援が展開できる						

	授業計画	事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間
1	生活支援技術Ⅰ・Ⅱで学んだ技術のふりかえり	生活支援技術Ⅰ・Ⅱで学んだ内容をふりかえる（1 時間）	授業内容を復習する（1 時間）
2	ボディメカニクス	ボディメカニクスの原則及び意義についてまとめ、自分自身の身体を守るためにどのようにボディメカニクスを活用していくかを考える（1 時間）	授業内容を復習する（1 時間）
3	環境整備（ベッドメイキング・シーツ交換）	演習目標の立案およびベッドメイキングの練習を行う（1 時間）	授業内容の復習を行う（1 時間）
4	利用者が臥床している状態でのシーツ交換	テキスト該当部分を読み、体位変換の介助について復習しておく（0.5 時間）	演習記録の記入および授業内容の復習を行い、練習する（1.5 時間）
5	送迎の介助	福祉施設での利用者の送迎について調べ、演習目標を立案する（1 時間）	授業内容を復習する（1 時間）
6	福祉車両乗降の介助（ゲストスピーカー）	福祉車両について調べる（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
7	一般車両乗降の介助	車に乗降する際の介助について調べ、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
8	睡眠の意義と目的	テキスト該当部分を読み演習目標を立案する（0.5 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1.5 時間）
9	安楽な姿勢	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1 時間）	授業内容を復習する（1 時間）
10	安楽な姿勢の保持	テキスト該当部分を読む（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
11	洗髪介助の方法	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1 時間）	授業内容を復習する（1 時間）
12	ベッド上での洗髪介助	洗髪の介助をふりかえる（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
13	障害に応じた介護技術①（視覚障害）	視覚障害について調べ、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
14	障害に応じた介護技術②（聴覚・言語障害）	聴覚・言語障害について調べ、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
15	障害に応じた介護技術③（肢体不自由）	肢体不自由について調べ、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）

16	障害に応じた介護技術④（内部障害）	内部障害について調べ、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
17	終末期ケアの意義と介護の役割	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
18	危篤時の介護	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
19	終末期の介護（エンゼルケア・グリーフケア）	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
20	施設における終末期の介護（ゲストスピーカー）	施設での終末期介護について調べる（1 時間）	授業内容をふりかえり、レポートをまとめる（1 時間）
21	障害に応じた介護技術⑤（知的障害・発達障害）	知的障害・発達障害について調べ、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
22	障害に応じた介護技術⑥（難病）	難病について調べ、演習目標を立案する（1 時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1 時間）
23	介護技術の展開（施設での介護事例）	介護実習での支援をふりかえり、演習目標を立案する（1 時間）	授業内容を復習する（1 時間）
24	実技練習（施設での介護事例）	実技練習を行う（1 時間）	演習記録の記入および実技をふりかえる（1 時間）
25	介護技術の展開（居宅介護事例）	居宅介護の事例を調べ、演習目標を立案する（1 時間）	授業内容を復習する（1 時間）
26	実技練習（居宅介護事例）	実技練習を行う（1 時間）	演習記録の記入および実技をふりかえる（1 時間）
27	施設での介護事例・居宅介護事例ふりかえり	事例をふりかえる（1 時間）	実技をふりかえる（1 時間）
28	実技習得レベルの確認（施設での介護事例）	居宅介護事例について実技練習を行う（1.5 時間）	実技をふりかえる（0.5 時間）
29	実技習得レベルの確認（居宅介護事例）	施設での介護事例について実技練習を行う（1.5 時間）	実技をふりかえる（0.5 時間）
30	実技習得レベルの確認のふりかえりとまとめ	実技習得レベルの確認の内容および今まで学んだ内容をふりかえる（1 時間）	授業内容をふりかえる（1 時間）

試 験	筆記試験				
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	（最新介護福祉士養成講座 6） 生活支援技術Ⅰ第 2 版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952	
	（最新介護福祉士養成講座 7） 生活支援技術Ⅱ第 2 版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883969	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	（最新介護福祉士養成講座 8） 生活支援技術Ⅲ　第 2 版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883976	
	（最新介護福祉士養成講座 11）こころとからだのしくみ （第 2 版）	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884003	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	定期試験	40%	授業内容を理解しているか評価する		
	技術習得度（実技チェック）	40%	技術が習得できているか評価する		
	授業毎の演習記録	10%	授業内容を記録し、学びが適切に記録できているかを評価する		
	授業態度	10%	意欲的に技術を習得しようとしているか、積極性や参加態度から評価する		
備 考					

フィードバック	授業後に記入した演習記録について、翌週の授業日に添削して返却する 実技チェックの振り返りを個々に行う
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）	
授業内容	介護福祉士として、介護老人福祉施設で実務経験のある教員が実技指導を行う